

空気量調整剤 DF 711

空気量調整剤 DF 711 は、コンクリートの空気量が過大に連行される場合に使用する消泡剤です。所要の空気量を確保するために適切な使用量でお使い下さい。

主成分、物性及び使用方法

主成分	外観	密度 g/cm ³ ,20°C	塩化物イオン量*	全アルカリ量*
ノニオン系界面活性剤	淡黄色油状液体	0.98 ~ 1.00	0.00 % 【0.00 kg/m ³ 】	0.0 % 【0.00 kg/m ³ 】

* 塩化物イオン量と全アルカリ量は分析値例であり、【 】内は「DF711」を1mℓ/C=100kg使用した場合、C=320kg/m³のコンクリート1m³当りに導入される量です。

- 試験練りで使用される場合は、あらかじめ500~1000倍程度に希釈して使用して下さい。
- 空気量の調整は、コンクリートの使用材料や配(調)合によって変化しますが、便宜的に空気量を1%減少させるために必要な量(1D)を「DF 711」原液で0.1mℓ/C=100kgとします。

使用例 2D使用する場合 【DF711 (1000倍希釈液), C=320kg/m³, 練混ぜ量 30 ℓ】

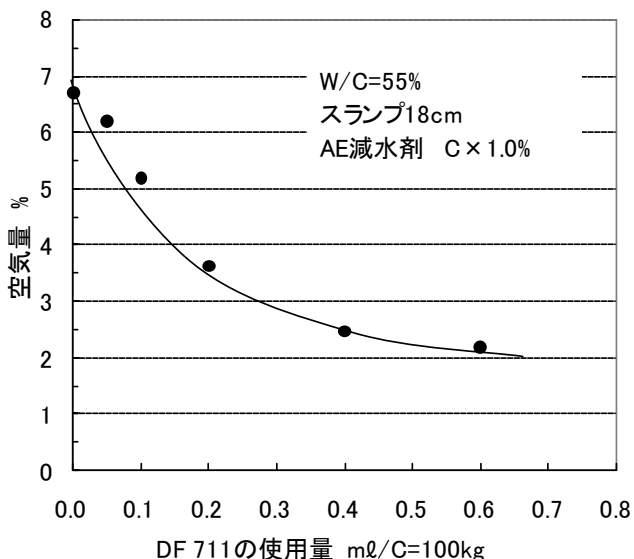
$$320 \times 30/1000 \times 0.1/100 \times 2 \times 1000 \div 1000 = 19 \text{ mℓ}$$

【セメント量 kg】 【練混ぜ量 ℓ】 【1D 使用量】 【Dタイプ】 【希釈倍率】

- AE 減水剤、高性能 AE 減水剤等に内添した場合、静置すると「DF 711」が液面に浮くことがありますので、試験練りの場合は別計量にて使用して下さい。

消泡効果(コンクリート試験結果例)

【DF711 の使用量と空気量の関係】



【使用材料】

セメント：普通ポルトランドセメント 密度 3.16 g/cm³
 細骨材：君津産山砂と砕砂を 5 : 5 (質量比) で使用
 山砂 密度 2.62 g/cm³, 吸水率 2.17%, 粗粒率 2.67
 砕砂 密度 2.61 g/cm³, 吸水率 1.30%, 粗粒率 2.93
 粗骨材：青梅産硬質砂岩砕石 Max 20mm
 密度 2.66 g/cm³, 吸水率 0.64%, 粗粒率 6.76
 混和剤：AE減水剤 ヤマソー O 2 N L

取り扱い上の注意

1. コンクリートの性状は、使用材料、配(調)合、温度などの条件により変わる場合がありますので、あらかじめ試し練りによって性状を確認して下さい。
2. 異物や雨水、他の混和剤などが混入しないように、保管・使用して下さい。
3. 凍結した場合には、ゆっくりと暖めながら静かにかくはんし、融解して下さい。
4. 皮膚についた場合は、水と石鹼でよく洗い落として下さい。
5. 眼に入った場合は直ちに清浄な水で十分に洗浄した後、眼科医の手当てを受けて下さい。
6. 万一誤飲した場合には、胃の内容物を吐かせ、口腔内を洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
詳細は、安全データシート(SDS)の内容を参照して下さい。

荷姿

17 kg 缶

- ここに記載された事項は、細心の注意を払って行なった弊社の実験データに基づくものですが、実際の現場における結果をすべて確実に保証するものではありません。従って、需要家各位にて十分ご検討のうえ、ご使用下さいますようお願い致します。



本 社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀 2-25-5	☎03(3552)1341
東 京 営 業 部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀 2-25-5	☎03(3552)1261
大 阪 支 店	〒530-0041	大阪市北区天神橋 3-3-3	☎06(6353)6051
福 岡 支 店	〒812-0008	福岡市博多区東光 2-6-6	☎092(483)8567
札 幌 支 店	〒006-0001	札幌市手稲区西宮の沢 1 条 2-3-45	☎011(662)5552
広 島 営 業 所	〒733-0005	広島市西区三滝町 14-4	☎082(237)3083
仙 台 営 業 所	〒980-0004	仙台市青葉区宮町 3-9-27	☎022(224)0321
東京営業部平塚事務所	〒254-0016	平塚市東八幡 3-6-22	☎0463(23)5536
静 岡 出 張 所	〒422-8032	静岡市駿河区有東 2-5-21 テクピア静岡 101	☎054(202)5111
高 松 出 張 所	〒760-0075	高松市楠上町 1-5-15 リビエール楠上 103 号	☎087(863)7565
富 山 出 張 所	〒939-8212	富山市掛尾町 242	☎076(494)8630